

8-4-40 アセットマネジメント専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 専門委員会の設置

アセットマネジメント専門委員会は、令和 3 年度に発足後、アセットマネジメント（以下、AM と記す）の実装における建設コンサルタントの役割の明確化と普及に体系的に取り組み、令和 7 年 1 月には「建設コンサルタントの提言 ～アセットマネジメントの導入による豊かな地域社会の実現のために～」を建コン協 HP に公開した。令和 7 年度は、同提言の普及と実装を目的に、3 つのワーキングにより活動を行った。

(2) 専門委員会の開催

委員会は 11 回開催した。

(3) 令和 7 年度マネジメントセミナーへの参画

a) セミナーの概要

- ・開催日：令和 7 年 10 月 3 日（金）
- ・場所：赤坂 ICC からライブ配信（見逃配信あり）
- ・聴講者数：1,375 名（発注者 43 名含む）

b) 講演名：第 5 講「AM の社会実装に向けて ～豊かな地域社会の実現のために～」

c) 講演概要

- ・新設から 4 年間の活動をもとに、我が国の AM の社会実装の実態と課題、今後の活動の方向性について以下の項目立てで報告した。

1. 社会資本の現状と AM の必要性
2. 建コンの多様な役割
3. プラットフォームの構築
4. 今後の取り組みについて

d) 講演後のアンケート結果

内容に関して「非常に役に立つ」と「役に立つ」の合計が 99%、説明に関する評価は「非常に分かり易い」と「分かり易い」の合計が 94% と非常に高い評価を得た。

(4) ワーキング活動概要

a) 社会実装 WG

AM に関する国民向けアンケート（サンプル数 2,000 名）（第 2 回）を実施し、国民の AM への期待を把握し、その成果を様々なセミナーで発

表した。また、インフラメンテナンス国民会議と連携し、自治体向けのセミナーを北海道（約 250 名参加）と九州（約 400 名参加）でそれぞれ実施し、AM の普及に努めた。

b) 外部情報収集・発信 WG

協会会員各社が AM 事業に参入できるように、AM 先進事例（63 件）をデータベース化（ベストプラクティス集）し、建コン協 HP での専用サイトを構築し、令和 7 年 9 月に公開した。AM に関する先進的な取組を実施する自治体にヒアリング（明和町・栃木県・群馬県）を実施したほか、プラクティスデータを収集・整理し、ベストプラクティス情報の最新化に努めた。

c) 市場拡大 WG

社会インフラテック 2025 展（総入場者 59,873 名）において、ブースを開設して「提言」を配布するとともに、その考えを伝えるため専門委員長が講演を行った（名刺交換・対話：120 名）。



社会インフラテック 2025 展での展示広報

また、北海道、九州フォーラム開催に併せて、建コン支部と AM 事業の参入等に対して意見交換会を実施したほか、これらの意見交換等を踏まえて、建コン協サービスをカタログ化と Web によるこれらの提供について準備を進めた。

(5) その他の活動

「インフラメンテナンス国民会議」に実行委員として藤原委員長が参加し、建コン協の立場と役割について説明を行った。

2. 次年度の活動について

令和 8 年度は、引き続き、提言書を活用して建コン協支部との意見交換や対外的広報を進めるとともに建コン協の役割拡大を図る。

（アセットマネジメント専門委員会委員長

藤原 鉄朗）